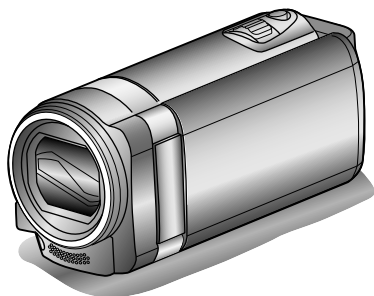
JVC

LYT2258-001B-M

JP

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM670**

基本取扱説明書

Everio

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（p. 2）および「使用上のご注意」（p. 36）を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書"（本書）と "Web ユーザーガイド"があります。
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド"をご覧ください。

■ **http://manual.jvc.co.jp/c1b/lyt2268-001jp**

■ **本機内蔵のアプリケーションソフトからもアクセスできます。****（p. 26）**

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
一般的注意 感電注意	禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水場での使用禁止	一般的指示

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示してします。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止
- プラス（＋）とマイナス（－）のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
　万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
・幼児の手の届くところには置かないでください。

禁止 **変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**
・そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。（バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。）

・ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
・直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

長期間使わないときは…
① 30%程度充電された状態（　）で保存してください。
② 2 ヵ月に1 度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態（　）で保存してください。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止 **内部に物を入れない**
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止 **レンズを直射日光などに向けない**
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止 **乗り物を運転中に使用しない**
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止 **雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**
・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

コンセントやＡＣアダプター(電源/ＤＣプラグ)に、ほこりや金属を付着させない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。

雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に相談する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。

三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

もくじ

Web ユーザーガイド
本製品には "基本取扱説明書"(本書)と "Web ユーザーガイド"があります。 詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド"をご覧ください。 ■ **http://manual.jvc.co.jp/c1b/lyt2268-001jp** ■ **本機内蔵のアプリケーションソフトからもアクセスできます。(p. 26)**

付属品を確かめる

AC アダプター
AC-V11※

バッテリーパック
BN-VG114

USB ケーブル
(A タイプ−ミニ B タイプ)

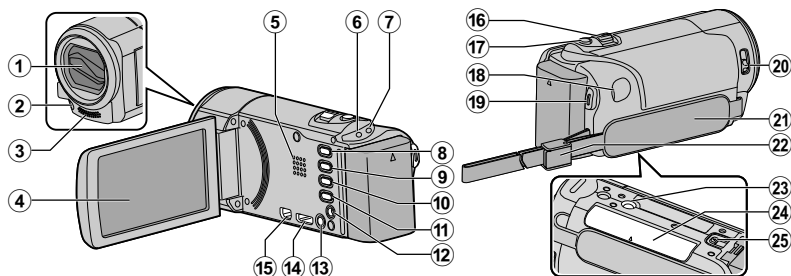
AV コード

HDMI ミニケーブル

基本取扱説明書
(本書)

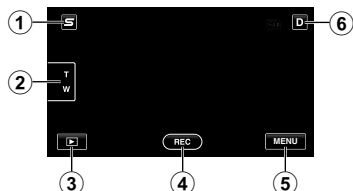
- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 10 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

① レンズカバー
② ライト(p. 29、30)
③ ステレオマイク
④ 液晶モニター
液晶モニターを開/閉すると、電源を入/切できます。
⑤ スピーカー
⑥ ACCESS(アクセス)ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
⑦ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ(p. 8)
⑧ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン(p. 13)
インテリジェントオートとマニュアルモードを切り替えます。
⑨ USER(ユーザー)ボタン(p. 29、30)
⑩ 🎥 / 📷(動画/静止画)ボタン
動画と静止画を切り換えます。
⑪ INFO(情報)ボタン
撮影： 撮影可能時間(動画のみ)やバッテリー残量を表示します。
再生： 撮影日などのファイル情報を表示します。
⑫ AV 端子(p. 16、22)
⑬ ⏻(電源)ボタン
押し続けると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。
⑭ HDMI ミニ端子(p. 16)
⑮ USB 端子(p. 27)
⑯ ズーム / 音量レバー(p. 13、15)
⑰ SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン(p. 14)
⑱ DC 端子(p. 8)
⑲ START/STOP(動画撮影)ボタン(p. 13)
⑳ レンズカバースイッチ
㉑ グリップベルト(p. 9)
㉒ ロックレバー(p. 9)
㉓ 三脚取り付け穴
㉔ SD カードスロット(p. 10)
㉕ バッテリー取りはずしレバー(p. 8)

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。(p. 7)

撮影画面（動画／静止画）

① **フェイスショートカットメニューボタン**
顔認識に関連する設定のショートカット画面を表示します。(p. 29、30)

② **ズームボタン**

③ **再生モード切換ボタン**
再生モードに切り換えます。

④ **撮影開始/停止ボタン**(p. 13、14)

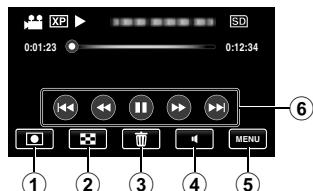
REC ：動画撮影開始ボタン

●II：動画撮影停止ボタン

：静止画撮影ボタン

⑤ **メニューボタン**(p. 28)

⑥ **画面表示切換ボタン**
一部の表示は約３秒間で消えます。もう一度表示するときに押します。ボタンを押すたびに約３秒間表示されます。また、ボタンを押し続けると表示を消さないように設定できます。再度、ボタンを押すと設定が解除されます。

再生画面（動画）

① **撮影モード切換ボタン**
撮影モードに切り換えます。

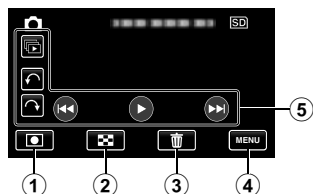
② **インデックス画面ボタン**

③ **削除ボタン**

④ **音量調節ボタン**(p. 15)

⑤ **メニューボタン**(p. 28)

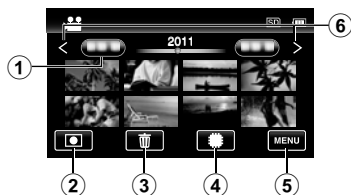
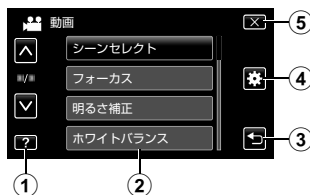
⑥ **操作ボタン**(p. 15)

再生画面（静止画）

① **撮影モード切換ボタン**
撮影モードに切り換えます。

② **インデックス画面ボタン**

③ **削除ボタン**

④ **メニューボタン**(p. 28)

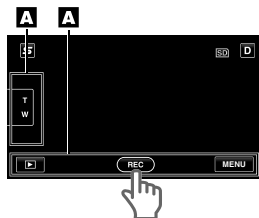
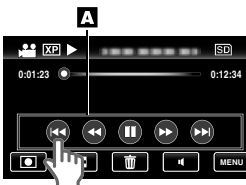
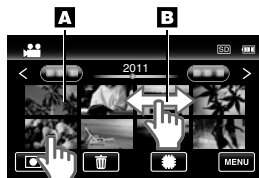
⑤ **操作ボタン**(p. 15)

インデックス画面

① 日付ボタン
② 撮影モード切換ボタン
撮影モードに切り換えます。
③ 削除ボタン
④ 再生メディアボタン
SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。
⑤ メニューボタン(p. 28)
⑥ ページ送り/戻しボタン

メニュー画面

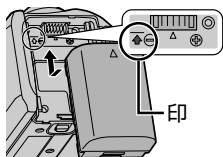
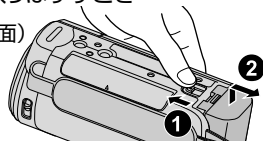
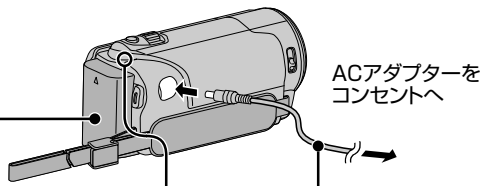
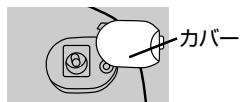
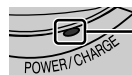
① ヘルプボタン(p. 28)
② メニュー項目(p. 28)
③ 戻るボタン
④ 共通メニューボタン(p. 32)
⑤ 終了ボタン

タッチパネルの使い方

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の２つの操作があります。以下は操作例です。
A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。
B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。

撮影画面

再生画面

インデックス画面

お知らせ

- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」(p. 32)を行ってください。(SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしなでください。)

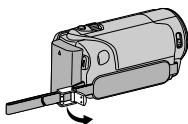
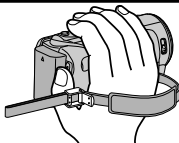
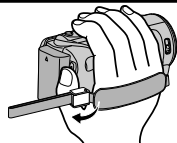
バッテリーを充電する

ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

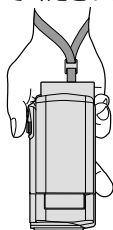
- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 2 時間 30 分（付属バッテリーの場合）

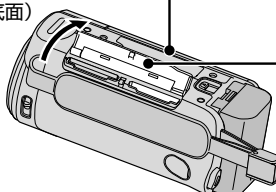
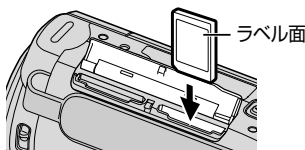
※25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

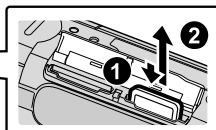
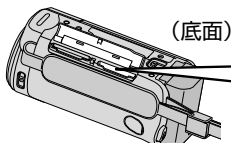
- USB ケーブルを使っても充電できます。（詳しくは Web ユーザーガイドへ）

グリップベルトを調節する

① 止め具のロックレバーを開く

② ベルトの長さを調節する

③ ロックレバーを閉じる

ハンドストラップとして使う

ベルトの長さを調整して、手首を通してください。

SD カードを入れる

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p. 11)
カードがない場合は、メディア設定を "内蔵メモリー"にして撮影してください。

■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

お知らせ

次の SD カードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック（Panasonic）、東芝（TOSHIBA）、サンディスク（SanDisk）、ATP、Eye-Fi*
動画	Class 4 以上対応の SD カード（2 GB）、Class 4 以上対応の SDHC カード（4 GB～32 GB）、または Class 4 以上対応の SDXC カード（48 GB～64 GB）
静止画	SD カード（256 MB～2 GB）、SDHC カード（4 GB～32 GB）、または SDXC カード（48 GB～64 GB）
Eye-Fi	Eye-Fi Connect X2 / Eye-Fi Explore X2 / Eye-Fi Pro X2

*指定モデルのみ、お使いください。詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- Eye-Fi は SD カードに無線 LAN 機能を内蔵しています。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。
- メニューの "シームレス撮影"設定を "入"にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずに SD カードに続けて記録できます。
（"シームレス撮影"の設定は、Web ユーザーガイドをご覧ください。）

■ SD カードを使うときは

"共通"メニューの "動画記録メディア"または "静止画記録メディア"を "SDカード"に変更すると、カードを使って記録できます。

① 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。

② "MENU"をタッチする

③ "⚙"をタッチする

④ "動画記録メディア"または "静止画記録メディア"をタッチする

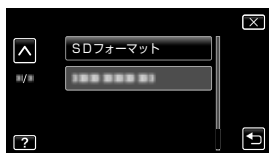
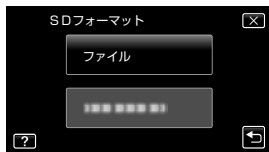
⑤ "SDカード"をタッチする

■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

"共通"メニューの "SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。

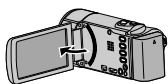
フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

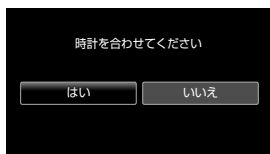
「SD カードを使うときは」の手順 ①～③ を実行してください。

④ "SDフォーマット"をタッチする

⑤ "ファイル"をタッチする

⑥ "はい"をタッチする

⑦ フォーマットが終わったら、"OK"をタッチする

時計を合わせる

1 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"をタッチする

3 日時を設定する

- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、"∧"と "∨"が表示されます。"∧"または "∨"をタッチして、日時を合わせます。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする

5 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。
- "<" または ">" をタッチして、都市名を選んでください。

時計を合わせ直すときは

"共通"メニューの "時計合わせ"から時計を合わせてください。

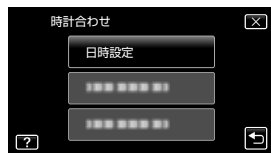
① 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。

② "MENU"をタッチする

③ "⚙"をタッチする

④ "時計合わせ"をタッチする

⑤ "日時設定"をタッチする

- 以降の設定のしかたは、前述の手順 3 ～ 5 と同じです。

お知らせ

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。24 時間以上充電してから、時計を設定してください。(p. 8)

動画撮影

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。
撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

- 逆光( )、夜景( )、人物( )の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

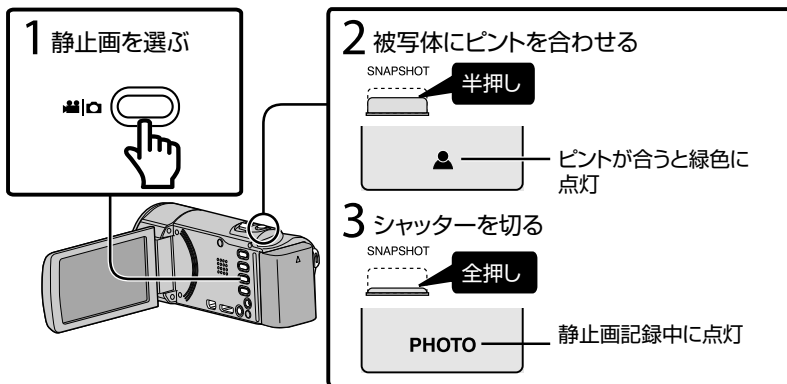
- タッチパネルの REC ボタンでも撮影できます。撮影を停止するときは、●II ボタンを押します。また、T/W ボタンでズーム操作もできます。

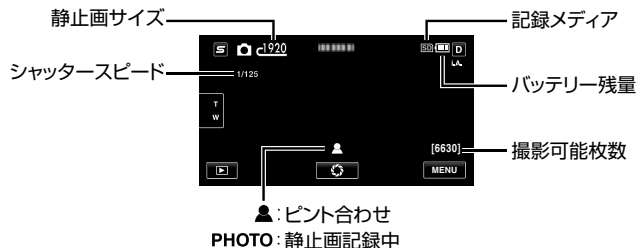
■ 動画撮影中の表示

お知らせ

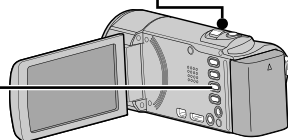
- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 1 時間 5 分です。(p. 33)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ＡＣアダプター、SD カードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

静止画撮影

※ タッチパネルの ボタンでも撮影できます。ただし、半押しでのピント合わせはできません。

■ 静止画撮影中の表示

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。

1 動画または静止画を選ぶ

2 タッチパネルの▶をタッチして、再生モードにする

*撮影モードに戻すには、●をタッチします。

3 再生するファイル(映像)をタッチする

- ▦/SDをタッチすると再生するメディアが切り換わります。
- 再生中に❚❚をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に▦をタッチすると、一覧表示画面に戻ります。

再生中に音量を調節する

■ 不要な映像を削除するには

① 🗑をタッチする

② 削除するファイルをタッチする

選んだファイルに削除マークが表示されます。
削除マークを消すときは、もう一度タッチします。

③ "設定"をタッチする

④ 確認メッセージがでたら、"実行する"をタッチする

⑤ "OK"をタッチする

■ 再生の 1 コマを静止画として保存するとき

一時停止中に SNAPSHOT ボタンを押します。

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

	動画再生中	静止画再生中
▶/❚❚	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
▦	停止(一覧表示に戻る)	停止(一覧表示に戻る)
▶▶❚	次の動画に進む	次の静止画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	-
◀◀	早戻し	-
❚▶	一時停止中にコマ送り/押し続けるとスロー再生	-
◀❚	一時停止中にコマ戻し/押し続けると逆スロー再生	-
🔈	音量調節	-
↶	-	左に 90 度回転
↷	-	右に 90 度回転
⧉	-	連写した静止画の連続再生

※ ボタン表示は約3秒間で消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

テレビで映像を見る

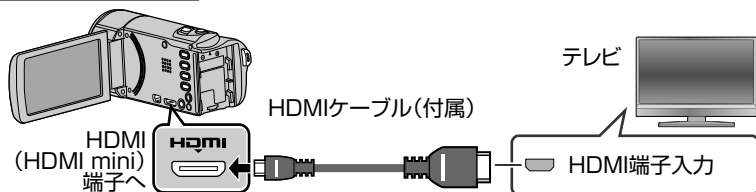
1 テレビに接続する

※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

■ ハイビジョン画質で再生するとき

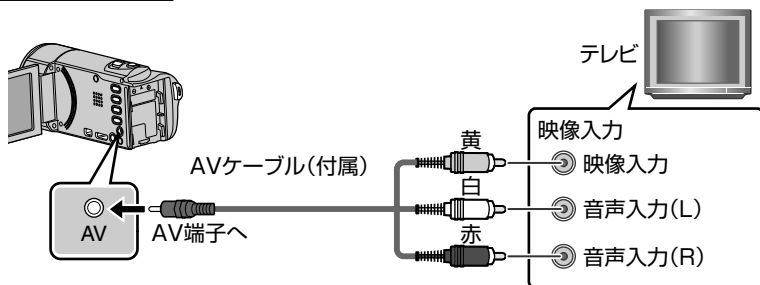
ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ

お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ

2 AC アダプターをつなぐ (p. 8)

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (p. 15)

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	● "共通"メニューの "ビデオ出力"を "４：３"に変更してください。
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	● "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"が "入"の状態で撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。 ● テレビ側で画面を調整してください。

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

○ ：記録/再生できる
△ ：再生のみできる
— ：記録/再生できない

メディアの選択		標準画質		ハイビジョン画質			参照ページ
		VHS（VHSテープ）	DVD（DVDディスク）	AVCHD DVD（DVDディスク）	Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）	HDD（機器内蔵のHDD）	
使用する機器	DVD ライター	—	○	○	—	—	p. 19
	外付型ブルーレイドライブ	—	○	○	○	—	p. 19
	ブルーレイレコーダー	—	○	△ ※1	○ ※1	○	レコーダーの取扱説明書をご覧ください
	DVD レコーダー	—	○	△ ※1	—	○	p. 22
	ビデオデッキ	○	—	—	—	—	p. 22
	外付型ハードディスク	—	—	—	—	○	p. 23
	パソコン	—	※2	※2	※2	○	p. 24

※1 AVCHD 対応機器のみ

※2 パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

お知らせ

- 外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクの最新情報については、下記のホームページをご覧ください。

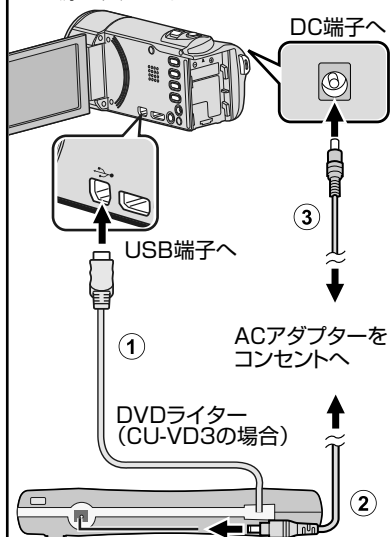
I-O DATA 社:http://www.iodata.jp/everio/
ビクター:http://www.victor.co.jp/dvmain/

DVD ライターや外付型ブルーレイドライブでディスクを作る

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。
  1. DVD ライター付属の USB ケーブルでつなぐ
  2. DVD ライターの AC アダプターをつなぐ
  3. 本機に AC アダプターをつなぐ
  - AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

※ DVD ライターや外付型ブルーレイドライブの取扱説明書もご覧ください。

- 本体の電源が入り、"バックアップ"メニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されます。

2 DVD ライターまたは外付型ブルーレイドライブの電源を入れ、新しいディスクを入れる

■ 作成したディスクを再生するには

AVCHD 対応機器（ブルーレイレコーダーなど）で再生できます。

■ 対応する DVD ライター

- CU-VD3

■ 対応する外付型ブルーレイドライブ

I･O DATA（アイ･オー･データ機器）社の BRD-UH8LE または BRD-UH8S をお使いください。

外付型ブルーレイドライブに同梱の USB ケーブルを使うときは、延長 USB ケーブルをお買い求めください。

- ミニ A（オス）－A（メス）
  （ビクターサービス扱い：
  QAM0852-001）

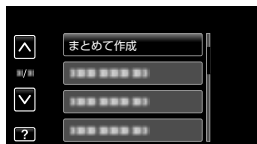
※ 最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

お知らせ

- ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。

まとめて保存する

動画または静止画モードを選びます。

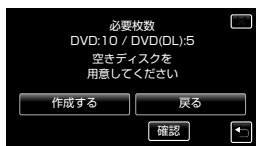
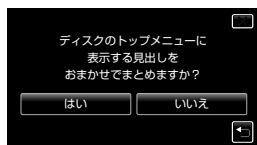
1 "まとめて作成"(動画)または "まとめて保存"(静止画)をタッチする

"メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。(詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください)

- "ＢＤ"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。(外付型ブルーレイドライブのみ)
- "ＤＶＤ(ＡＶＣＨＤ)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
- "ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ"を選ぶと、標準画質に変換して DVD に保存できます。

2 保存するメディアをタッチする

3 作成方法をタッチする

"すべてのシーン"(動画)/
"すべての画像"(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"(動画)/
"保存していない画像"(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 "作成する"をタッチする

5 "はい"または "いいえ"をタッチする

"はい"：撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
"いいえ"：撮影日単位でまとめた見出しにします。

6 "作成する"をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

7 作成が終わったら、"ＯＫ"をタッチする

8 本機の電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して電源を切ってから、USB ケーブルを抜く

■「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

"共通"メニューの "自動ファイナライズ"が "切"のときに表示されます。

- ほかの機器で再生するときは "はい"をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"をタッチします。

選んで保存する

動画または静止画モードを選びます。

1 "選んで作成"(動画)または "選んで保存"(静止画)を選んで、タッチする

- "メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。
  (詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。)

2 保存するメディアをタッチする

3 作成方法をタッチする

"日付ごとに作成"(動画)/
"日付ごとに保存"(静止画):
撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。➡**A** へ
"プレイリストごとに作成"(動画のみ)※:
作成したプレイリストを選んで保存します。

※ 詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください。

"シーンから選ぶ"(動画)/
"画像から選ぶ"(静止画):
保存したい動画、または静止画を選んで保存します。➡**B** へ

A 日付ごとに作成/日付ごとに保存

① 撮影日をタッチする

- 選んだ日付のファイルだけを保存します。
- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4 ～ 8 と同じです。

B シーンから選ぶ/画像から選ぶ

① ファイルを選ぶ

- ファイルをタッチすると、チェックマークが付きます。

② 選び終わったら、"保存"をタッチする

- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4 ～ 8 と同じです。

■ 作ったディスクを確認するとき

手順 1 で "再生"を選びます。

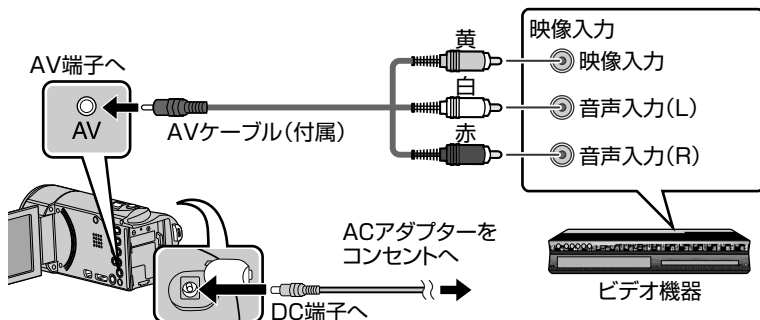
ご注意

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- ディスク作成中画面で作成を中止すると、書き込み中のディスクが使用できなくなります。
- 動画と静止画は同じディスクに保存できません。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

DVD レコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVD レコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。
テレビや DVD レコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

1 ビデオ機器に接続する

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

2 ▶ をタッチして、再生モードにする

3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-R やビデオテープなどを入れます。

本機の準備

- "共通"メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("４：３"または "１６：９")に合わせます。

4 録画を開始する

- 本機で動画を再生(p. 15)し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

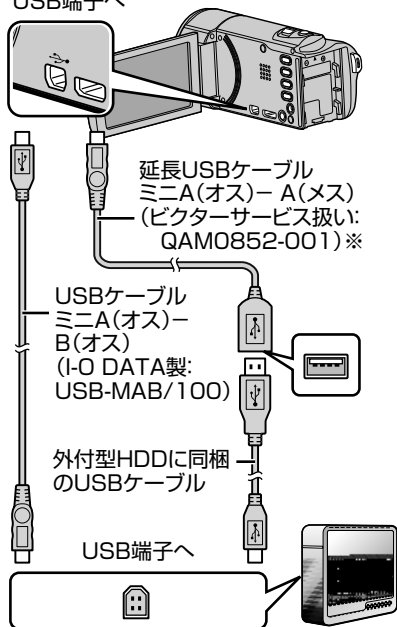
外付型ハードディスクに保存する

市販の外付型ハードディスク（以下、外付型HDD）に動画や静止画を保存したり、本機で再生したりできます。

※ 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

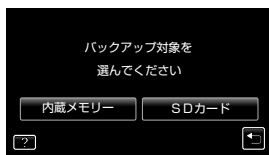
■ 対応する外付型 HDD

I-O DATA（アイ・オー・データ機器）社のHDCN-UA シリーズをお使いください。
2 TB を超える外付型 HDD は使用できません。

■ 対応する USB ケーブル

※ 最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

動画または静止画モードを選びます。

1 "バックアップする"をタッチする

2 保存するメディアをタッチする

3 保存方法をタッチする

"すべてのシーン"（動画）/
"すべての画像"（静止画）：
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"（動画）/
"保存していない画像"（静止画）：
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 バックアップを開始する

- 空き容量を確認してから、"はい"をタッチする

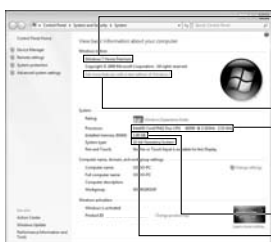
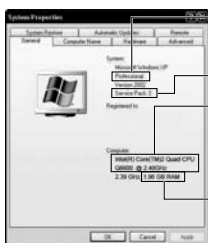
■ 保存したファイルを再生するには

手順 1 で "再生"を選びます。
外付型 HDD に保存した動画や静止画は本機で再生できます。

パソコンに保存する

パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは
付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合

■ Windows XP の場合

■ そのほかの条件

ディスプレイ:1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)
グラフィック:Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09、'11(動画)または iPhoto(静止画)を使っても、コンピューターにファイルを取り込めます。
コンピューターの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

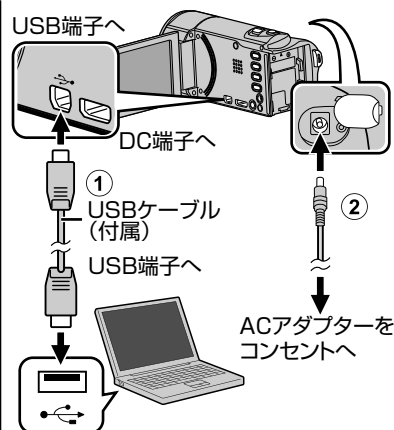
- iMovie または iPhoto の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie と iPhoto の操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフト(本機内蔵)をインストールする

本機の内蔵メモリー内の付属ソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 液晶モニターを開く

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

3 "パソコンと接続"をタッチする

4 "パソコンで見る"をタッチする

5 以下の手順をコンピューターで実行してください

① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行"をクリックする。

② ユーザーアカウント制御画面で "続行"をクリックする。

- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
- 表示されないときは、"マイコンピュータ"のなかの "JVCCAM_APP"内の "install.exe"をダブルクリックします。

6 "Everio MediaBrowser 3"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

7 "完了"をクリックする

8 "終了"をクリックする

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

お知らせ

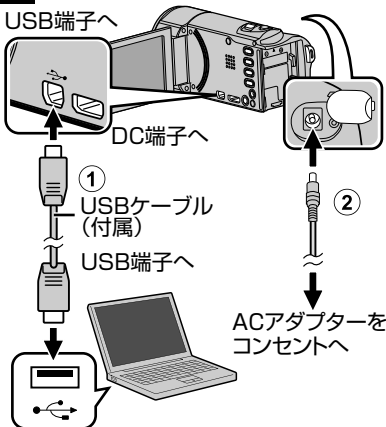
Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 6 で "Web ユーザーガイド"をクリックしてください。

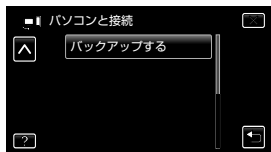
すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。

1 液晶モニターを開く

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

3 "パソコンと接続"をタッチする

4 "バックアップする"をタッチする

- パソコンで付属ソフト Everio MediaBrowser が立ち上がります。
以降の手順は、パソコンで操作します。

5 ボリュームを選ぶ

6 バックアップを開始する

ファイルの保存先（パソコン）

7 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト **Everio MediaBrowser** の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする

③ （Windows Vista の場合）"OK"をクリックする

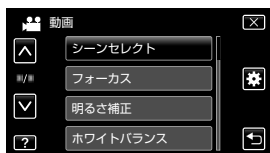
④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。
- フェイスショートカットメニュー(p. 29、30)は、"S"をタッチすると表示されます。

2 設定したいメニューをタッチする

- "共通"メニュー(p. 32)は、"⚙"をタッチすると表示されます。

3 設定したい項目をタッチする

■ 設定を終了するとき

"✕"をタッチする

■ 一つ前の画面に戻るとき

"⮌"をタッチする

■ ヘルプを表示するとき

"?"をタッチし、メニュー項目をタッチする

- ヘルプの表示がない場合があります。

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー

- マニュアル設定の項目(p. 30)
  撮影の設定を手動で設定できます。
  (マニュアル撮影時のみ表示されます)
  ➡ マニュアル撮影モードに変更するには(p. 13)

タッチ優先AE／AF
人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト
ライトの点灯/消灯を設定します。

手ぶれ補正
動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ
暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット
風の音を低減します。

アニメーション撮影
映像にさまざまな演出効果を付けて撮影します。

タイムラプス撮影
一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC
液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

ズームインピクチャー
タッチした顔を子画面に拡大表示して撮影します。

スマイルショット
笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%／名前表示
顔を検出したときに表示する内容を設定します。

顔登録
よく撮影する人物の顔を事前に登録します。

動画画質
動画画質を設定します。

ズーム倍率
ズームの最大倍率を設定します。

シームレス撮影
内蔵メモリーの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

x.v.Color
より忠実に色を記録します。
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

USER ボタン設定
よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。

■ フェイスショートカットメニュー(動画撮影モード時)

- スマイルショット
- スマイル%／名前表示
- アニメーション撮影
- ズームインピクチャー

■ 静止画撮影メニュー

- マニュアル設定の項目
  撮影の設定を手動で設定できます。
  （マニュアル撮影時のみ表示されます）
  ➡ マニュアル撮影モードに変更するには(p. 13)

タッチ優先 AE／AF

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。
(動画とは別に設定できます)

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に静止画の撮影をします。

シャッターモード

連写を設定できます。

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%／名前表示

顔を検出したときに表示する内容を設定します。

顔登録

よく撮影する人物の顔を事前に登録します。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

USER ボタン設定

よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。

■ フェイスショートカットメニュー（静止画撮影モード時）

スマイルショット
スマイル%／名前表示
顔検出セルフタイマー

マニュアル設定

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
ナイトアイ：周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。
スポットライト：ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
（動画と静止画で別々に設定できます）

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

■ 動画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

トリミング

動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。

アップロード設定

撮影済みの動画から YouTube にアップロードする部分(最大 10 分)を切り出して、保存します。

特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

K2 テクノロジー

撮影時に記録できない小さな音や高い音を再生成し、本来の音に近い音質で再生します。

■ 静止画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

スライドショー効果

スライドショーの切り替え効果を設定します。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 28 をご覧ください。

共通メニュー

時計合わせ
現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

日付表示配列
年月日の並び順と、時間表示(24h／12h)を設定します。

LANG.／言語
メニューなどで表示する言語を設定します。

モニター明るさ
画面の明るさを調整します。

動画記録メディア
動画を記録するメディアを設定します。

静止画記録メディア
静止画を記録するメディアを設定します。

操作音
操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ
電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

高速起動
5 分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

デモモード
本機の機能のデモを再生できます。

タッチパネル調整
タッチパネルボタンの反応位置を調整します。

テレビ表示
テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

ビデオ出力
接続するテレビに合わせた画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

HDMI 出力
テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御
HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

自動ファイナライズ
作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。

工場出荷
すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新
本機の機能を最新版に更新できます。

PC 用ソフト更新
本機内蔵のパソコン用のソフトウェアを更新します。

メモリーフォーマット
内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

SD フォーマット
SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーデータ消去
本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間/枚数

動画の撮影可能時間や撮影時間は、INFO ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー 32 GB	SDHC/SDXC カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
UXP	2 時間 50 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 20 分	5 時間 50 分
XP	4 時間	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
SP	5 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分
EP	14 時間 20 分	1 時間 40 分	3 時間 40 分	7 時間 10 分	14 時間 50 分	21 時間 50 分	29 時間 50 分

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	内蔵メモリー 32 GB	SDHC カード			
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
2400X1344(3.2M) (16:9)	9999	2100	4300	8500	9999
1920X1080(2M) (16:9)	9999	3200	6700	9999	9999
1440X1080(1.5M) (4:3)	9999	4300	8800	9999	9999
640X480(0.3M) (4:3)	9999	9999	9999	9999	9999

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114	1 時間 5 分	1 時間 55 分
BN-VG121	1 時間 35 分	2 時間 55 分
BN-VG138	2 時間 55 分	5 時間 20 分

- "ライト"が "切"、"モニター明るさ"が "3"(標準)のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

1 以下の「こんなときは･･･」をご覧ください。

2 Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。

使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。

- http://manual.jvc.co.jp/index.html/

3 ビクターホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

- http://www.victor.co.jp/

4 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。

そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。

① 電源を切る。（液晶モニターを閉じる）

② 電源（バッテリーとＡＣアダプター）をいったん取りはずし、再度接続して液晶モニターを開くと、本機の電源が入ります。

5 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス（裏表紙参照）にお問い合わせください。

こんなときは…

	こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する	● バッテリーの充電中です。	8
撮影	撮影できない	● 🎥/📷 ボタンを確認してください。 ● 画面の ◉ ボタンをタッチして撮影モードにしてください。	13 15
撮影	自動的に撮影が停止した	● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。（本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。） ● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -
再生	音や映像が途切れる	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-

その他	充電中、ランプが点滅しない	● バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	13 8
	本機が熱くなる	● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ 記録できませんでした/カードへ記録できませんでした	● 本機の電源を入れ直してください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "S Dフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)	- -
撮影データが少ないため 保存できません	● タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。	-
内蔵メモリーエラー/カードエラー	● 本機の電源を入れ直してください。 ● AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。 ● SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "S Dフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)	- - - -
レンズカバーを 確認してください	● レンズカバーが閉じているとき、または周りが暗いときに電源を入れると、約5秒間表示します。	-

使用上のご注意

- **精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。**
  記録や再生ができなくなります。
- **本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。**
  内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- **撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。**
  データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVD などに定期的に保存することをおすすめします。
- **データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。**
  この処理は、お客様の責任において行ってください。
  万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

液晶モニターについて

表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ : 有限責任中間法人 JBRC http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CDをBGM とするムービーを編集する場合は、音楽CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと x.v.Color は商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）と HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTube と YouTube ロゴは、YouTube LLC. の商標および商標登録です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iMovieは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc. の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Eye-Fiはアイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

仕様

カメラ本体

項目	仕様
電源	AC アダプター使用時:DC 5.2 V、バッテリー使用時:DC 3.5 V ー 3.6 V
消費電力	2.4 W ("モニター明るさ"が "3"(標準)の場合)
外形寸法(mm)	51 x 55 x 111 (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 195 g(本体のみ)、約 235 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃ ～ 40℃、許容保存温度: −20℃ ～ 50℃、 許容相対湿度:35 % ～ 80 %
映像素子	1/4.1 型 332 万画素(CMOS)
撮像エリア(動画)	122 万画素(手ぶれ補正 アクティブモード入) 144 万画素(手ぶれ補正 アクティブモード切)
撮像エリア(静止画)	(4:3)108 万画素、(16:9)144 万画素
レンズ	F1.8 ～ F6.3、f= 2.9 mm ～ 116.0 mm 動画 35 mm カメラ換算:45.0 mm ～ 1800 mm(手ぶれ補正 アクティブモード入) 35 mm カメラ換算:41.4 mm ～ 1656 mm(手ぶれ補正 アクティブモード切) 静止画 35 mm カメラ換算:50.7 mm ～ 2028 mm(4:3) 35 mm カメラ換算:41.4 mm ～ 1656 mm(16:9)
ズーム(動画)	光学ズーム:等倍 ～ 40 倍、デジタルズーム:～ 200 倍
ズーム(静止画)	光学ズーム:等倍 ～ 40 倍
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像: AVC/H.264、音声:Dolby Digital (2ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	内蔵メモリー(32 GB)、SD/SDHC/SDXC カード(市販)、Eye-Fi カード(市販)
時計用電池	二次電池

AC アダプター(AC-V11)※

項目	仕様
電源	AC 100 V ー 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1.0 A
許容動作温度	0℃ ～ 40℃(充電時は 10℃ ～ 35℃)
外形寸法(mm)	66 x 28 x 47 (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを含まず)
質量	約 71 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」（P.34）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-727-231
フリーダイヤルが使用できない場合 ☎ 06-6633-2990
ホームページ http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター
フリーダイヤル 0120-2828-17

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください

☎ 045-450-8950

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、または
ビクターサービス修理受付センター
にご相談ください。

ビクターサービス修理受付センター
☎ 0800-800-9928

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.39をご覧ください。

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

C1B2 1210ASR-SW-VM